

(三)

軍票ニ依ル物資交換ハ努メテ之ヲ實施スルコト。尚宣
撫班ノ指導ニ依リ日本商人ガ現地ニ於テ支那人ニ物資
ヲ販賣シテ得タル軍票ハ努メテ支那人ヨリノ物資購
入代金ニ充當セシメ、以テ其ノ流通ヲ促進セシムルコト。
軍票ト法幣トノ交換ハ法幣中下落ノ虞アルニ鑑ミ之ヲ行

ハサルコト

又海軍側ニ於テモ陸軍側ノ要望ニ基キ、軍票ヲ使用スル陸
軍部隊ト同一地域ニ在ル艦船部隊ノ支那人ニ對スル支拂ニ
付軍票ヲ試用スルコトトシ、十三年三月之カ使用(試行)ノ規
程ヲ定ムルト共ニ軍票ノ供給方ヲ陸軍部隊ニ要求シ来レリ(註三四)

二、軍票使用ノ積極化工作

軍票使用ノ初期ニ於テハ、事変ニ對スル見透難ト應急的ニ
軍票ノ發行使用ヲ決定セル關係上、軍票ハ單ナル徵券証券
乃至徵券切符トシテ使用セラレ、從テ軍票券ノ紙質形式等々

日露戦争、シベリヤ出兵當時、モト同一ニシテ、紙質劣悪且
體裁不良ナリキ（前編第一章第四節参照）。サレ偽造軍
票統出シ（註五）又敵側ノ宣傳謀略モアリ、且上海地方於テハ
專ラ日銀券が使用セラレ居リタル等ノ事由ニテ支那人ハ勿論日
本人ノ中モ軍票ヲ拒否又ハ忌避スルモノ出ズルニ至リ（註六）
一般ニ軍票ヨリハ寧ろ日銀券ヲ以テ受授セントスル傾向強
マル狀況ニアリタリ。

ココニ於テ之ガ對策トシテ、一方ニ於テ憲察當局ヲシテ偽
造、變造關係者並日本人ニシテ軍票ノ受授ヲ忌避スルガ
如キ者ノ摘発処分ヲ徹底的ニ行ハシメ以テ軍票ノ信用昂
揚方ヲ圖ルト共ニ、他方人件費ノ軍票拂並軍票ト日銀
券等トノ交換ヲ或程度行ヒ、又與地ヘ、邦人銀行進出、上
海ニ於ケル、軍票販賣商ノ指定等、徴兵証券タル軍票ヲ
實質的ニ一般通貨タル軍票ニ發展セシメントスル工作行ハレ

同時上海ニ於ケル円相場低落ノ状況ニ鑑ミ軍票使用部
面ノ拡充工作推進セラレタリ。其ノ主ナルモノ如シ

(1)

軍票使用ノ徹底ト現地自治方針ノ強化
派遣軍當局ニ於テハ昭和十三年度臨時軍事費豫算
實施ニ関シ、其ノ円滑ナル遂行ヲ期スルタメ隷下部隊ニ指
示シ一方ニ於テ軍票使用ヲ徹底スルト共ニ他方法幣中使用
ヲ抑制スルタメ莫三國製品ノ購入ヲ軍司令官ノ承認事
項トシ可及的ニ國産品ヲ使用セシメ更ニ日本ノ負担ヲ輕
減スル爲極力土產物資ノ利用ニ努メ(支拂ハ軍票トス)且
軍人軍屬ノ貯蓄及内地送金等ヲ勸奨スル所アリ

(註七)

(2) 軍人軍屬ノ給與一部ヲ軍票ニテ支給
十三年六月派遣軍經理部ニ於テハ隷下部隊ニ通牒シ
上海以外ノ現地ニ於ケル軍人軍屬ノ俸給一部ハ之ヲ軍

(2)

票ヲ以テ支拂ハシムルコトセリ (註八)

上海ニ於ケル軍票ノ使用開始

從來上海ニ於テハ軍票ヲ使用セザリシ處 軍人軍屬ニシ

テ上海ニ出張スル者ノ不便ヲ考慮シ、又奧地取引ノ圓

滑ヲ期スル爲十三年六月以降上海ニ於ケル邦商ノ一

部ヲ軍指定商トシテ軍票取引ヲ行ハシムルコトセリ (註

九)

(3)

軍票ト日銀券等ノ交換

十三年八月以降先ズ奧地ヨリ上海ニ出張スル軍人軍

屬ノ所要ニ充ツルタメ一人百圓ヲ限度トシテ軍票ト日銀

券等トノ交換ヲ認ムルコトトシ (註一〇) 次テ奧地ト上海ト

ノ取引上ノ不便ヲ除去スルタメ、軍其他官憲、證明ヲ

徴シ邦人銀行ヲシテ軍資金ニ依ル軍票ト日銀券等ト

ノ交換ヲ行ハシムルニ至レリ (註一一、一二)

(4)

軍票、積極的流通拡充工作ニ関スル軍當局ノ意見、派遣軍當局ニ於テハ、徐州作戰、終了ト漢口進攻作戰ノ開始ニ伴フ軍票流通地域ノ拡大其ノ他上海於ケル圓貨ノ状況等ニ鑑ミ、爾後ノ軍票流通ニ関シ、圓滑且積極的ナル効果ヲ期スルタメ、軍票ト日銀券及物資トノ交換、邦人銀行ノ奧地派出海軍側ト、強調、軍票券ノ改善、人件費等計理規程ノ改正、更ニ軍票一色化等ニ関スル具體的方策ヲ取纏メテ中央ニ具申シ、中支(上海ヲ除ク)ノ軍票一色化工作ノ促進ニ努ムルトコアリタリ(註一三)此ノ間上海、軍票化ニ付テモ同地周辺ノ部隊ニ於テハ法幣ノ暴落、圓相場ノ不振、周辺地區軍票流通促進等、諸莫ニ鑑ミ、之ヲ急速ニ實施スル要アル趣ヲ強調シ居シリ(註一四)。

(5) 其他

北支方面軍ニ於テモ中支へ、轉属部隊ニ依ル聯銀券及鮮銀券ノ中支持込ヲ防止シ、併セテ中支ニ於ケル軍票使用、徹底ヲ期スル爲、該轄属部隊ノ携行金ニハ軍票ヲ使用スルコトトシ、方面軍ニ於テ軍票ノ交付ヲ行ヘリ(註一五)。又奥地所在日本商社ノ法幣中便用ニ付テハ、極力之ヲ抑制方ヲ圖リ、以テ軍票流通ノ拡充ニ遺憾ナキヲ期シタリ(註一六)。

尚中央ニ於テハ當時ノ國內經濟狀況ト現地ノ通貨情勢トニ鑑ミ、派遣軍ノ現地所用物資ハ奴カメテ現地ニ於テ調達スルト共ニ右物資調達代金ハ勿論其他ノ支拂モ上海附近ヲ除キ極力軍票ニ依ルベキコトニ関シ更メテ現地軍ニ對シ強ク指示スル處アリタリ(註一七)。

註一

軍用手票使用ニ関スル件通牒

昭和十二年十月十八日（経主発第三六五号）

第十軍経理部長宛

陸軍省経理局長

一 其ノ軍派遣地ニ於テ使用スル通貨ハ對外爲替ニ及ホス影響等ヲ顧慮シ、軍人ノ軍用ノ給與ヲ除ク他ハ勉メテ軍用手票ヲ以テシ、止ムラ得サル場合ノ外邦貨及支那貨ヲ使用セザルモノトス。

二 軍用手票ノ交換ハ四圍ノ情勢之ヲ必要トスル時期迄ハ勉メテ爲サザルモノトス。

但シ土民懐柔等ノ爲必要アリト認メタル場合ハ補給上支障ナキ範圍ニ於テ軍用手票ヲ以テ糧秣、酒保品、押收品等ヨリ彼等ノ生活必需品タル物資ヲ交付スルコトヲ得。此ノ場合受領セル軍用手票ノ金額（酒保品ヲ除ク）ハ之ヲ軍資金歳入トシテ整理スルモノトシ、物資ノ交付價格ハ現地ニ於ケル物價（追送品ニ在リテハ

其ノ購買價格)ヲ基礎トシ、軍聖理部長ニ於テ適宜指定スルモノトス。

三、前項ニ依リ交付シタル物資ハ、毎月軍ニ於テ之ヲ取纏メ別紙様式ニ依リ報告スルモノトス。

四、軍用手票ノ價值ヲ故意ニ変動セシメ之ニ依リ利益ヲ貪ラントスルガセキ悪件ノ業者ノ行動ニ関シテ、軍憲ト連絡シ特ニ留意スルモノトス。

五、軍用手票ノ交換(滯出)ヲ爲ス場合ニ於テハ邦貨ニ依リ各聖理部ニ於テ行フモノトス。

六、軍用手票ノ種類ハ十錢、五十錢、一圓、五圓、十圓ノ五種トス。

七、軍用手票請求及整理手續ハ別紙ノ通りトス。

(別紙ハ附録第一ノ第六号ニアリ)

註二

軍用手票ノ使用流通其他ニ関スル件通牒

昭和十三年三月二十三日（中支全軍第一四号）

各師團聖理部長
軍直部隊長等

中支那派遣軍聖理部長

首題ノ件ニ関シテハ爾今左記ノ通實施相成度

進テ流通ノ狀況ハ時々通報相成度申添テ

左記

一 使用通貨ニ就テ

事変地ニ於テ使用スル通貨ハ軍人軍属ノ給與ヲ除ク外極力軍
用手票ニ依リ邦貨又ハ支那貨ハ眞ニ已ミテ得サル場合ノ外使用セ
ザルモノトス。但シ上海附近（七宝馬橋ヲ連スル線以東線トシテ）
シ第九師團警備地ヲ除クニ於テハ邦貨ヲ使用ス

一 流通ニ就テ

現地日本商人ノ支那人ニ對スル販賣ハ軍票手票ノミニ制限シ支那貨若クハ邦貨ニテハ販賣セザル如ク指直シセラレタシ。

近來日本商人ニシテ軍用手票ニ依リ取引ヲ忌嫌シ或ハ其ノ價値ヲ云々スルモノアルヲ以テ聞スルモ斯ノ如キハ軍用手票ノ信用ヲ害シ圓滑ナル流通行ハレ難キニ付斷乎取締ラレタシ。

三、軍用手票ノ交換ニ就テ

軍用手票ハ邦貨ト交換セザル方針ナレモ、現地日本商人ニシテ支那人ニ販賣受領シタル軍用手票ハ内地取引上必ラ得サルニ付各経理部分任資金一別渡官吏(各隊ノ酒保ニアルハ分任官)ニ於テ憲兵隊又ハ軍隊ノ証明アルモノニ限り適宜邦貨ト交換シ以テ不正取得ヲ諒防スルモトス。尚軍人軍屬ニシテ現地使用タメ邦貨ヲ軍用手票ニ交換シ其ノ使用残額ノ交換ヲ申出デタルトキハ各隊分任官ニ於テ事情聽取上已ラ得サレ場合ハ前項ニ準シ交換セラレタシ。

四、物資ノ供給ニ就テ

軍用手票ニ依ル物資ノ交換ハ各聖理野戰衣糧食ニ於テ却賜ノ補給ニ支障キ
限リ軍需品、酒、食品、抑收品ヲ以テ努メテ實現セシメ度シ。

宣撫班ニ於テハ軍用手票ニ依リ支那人ノミニ販賣スル日本商人ヲ現地ニ派
遣シ之ガ流通ヲ助成シツマリ。此等商人ノ受領シタル軍用手票ハ成
ルベク現地ニ於テ支那物資ノ仕入ニ使用シ、尚不足ノ場合ハ軍各聖理部
ニ於テ軍用手票ヲ交換所持ヤシムル如ク宣撫班ト協議済ニ仕此等ノ
商人ニ對シテハ軍用手票及邦貨何レノ交換モ實現セザル如クセラレ
タレ。

五 支那貨トノ交換ニ就テ

軍用手票ヲ以テシテ支那貨トノ交換ハ支那爲替ノ下落ニ伴ヒ損害ヲ蒙
ルノ危険アルト、一面突發ニ依リ價值下ニ落テ慮アルヲ以テ之ヲ行ハ
サルモノトス。之ガ如ク支那人ニシテ軍用手票ヲ入手セントスル者ニ對
シテハ努メテ日本軍ニ物資勞力ヲ供給スル如ク指導セラレタレ。

註三

昭和十三年三月三日上海出雲(第三艦隊第三七號三五〇)

中支派遣軍參謀長
中支派遣軍聖理部主計長
第三艦隊參謀長
第三艦隊主計長

軍用手票使用(試行)ニ関スル件照會日

豫テ貴軍ヨリ御要望ニ依リ海軍ニ於テハ別紙使用規程ニ依リ軍用手
票ヲ使用(試行)致度所存ニ有之候ニ就テハ何分ノ由息見承^知致
度

退^テ軍用手票交換ノ件ハ出陣下部隊ニ令達可然清^取
計ヲ得度

別紙

昭和十三年三月十日上海出雲(機密第三艦隊命令第四〇号)

第三艦隊司令長官

軍用手票使用規程別紙ノ通り定メ當令ノ間之ヲ試行ス

(支那方面艦隊所屬艦船ニ適用)

(機密券三編 陸軍命令第四号別紙)

軍用手票使用規程

第一條 軍用手票ヲ使用中ノ陸軍部隊ト同一地ニアル艦船部隊ニ在
リテハ支那住民ニ對スル支拂ハ必要ニ應ジ軍用手票ヲ以ラスルコ
トヲ得

第二條 前條ノ規程ニ依リ軍用手票ヲ必要トスルキハ出給官吏ハ
所在陸軍部隊ニ就キ日本通貨ト平價交換ヲ行スル

第三條 海軍ニ於テハ軍用手票ト日本通貨又ハ物品トノ交換ハ一切之
ヲ行ハズ陸軍部隊ノ處理ニ依ルモノトス

第四條 軍人ノ軍服ガ個人ノ用ノ爲ニ軍用手票ヲ必要トスルキハ其員
外貨交換ノ例ニ準シテ交換スルモノトシ得

第五條 軍用手票ノ使用殘金ハ所在陸軍部隊ニ就キ日本通貨ト
交換シ出給官吏相互間ノ現金受授又ハ日本銀行ヘノ送附等

ニハ軍用手票ヲ使用セザルモノトス

第六條 出納官吏軍用手票ヲ受授シタルトキ、適宜ノ補知簿
ヲ設ケ、其ノ出納ヲ明ニシ置クヘシ

第七條 出納官吏ハ軍用手票ノ受拂規程ヲ別紙様式ニ依リ
毎月一回報告スヘシ

(別紙様式附)

註四

軍用手票使用ニ関スル件 回答

昭和十三年三月十七日 (中支聖主才一二号)

第三艦隊主計長宛 中支那派遣軍經理部長

本月三日附第三艦隊第三七號ノ二五〇ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件
異存無之ニ付回答ス

追而隷下部隊ニ對シテハ軍用手票交換ノ件通牒致シタルニ付御承
知相成度

註五

偽造軍票発見ニ関スル件通牒

昭和十三年八月四日（中支憲警第一〇三五号）

中支那派遣軍司令部長官宛 中支那憲兵隊司令部

七月十日ヨリ同十三日迄ノ間上海停車場ニ於テ発見シタル偽造軍票

左記ノ通牒ニ付通牒ス

左記

一種類及所有者ノ手先ノ状況

月日	種類	枚数	所有者住所氏名	入手先	摘要
七一	一円	一	蘇州南濠街林三和烟草 煙字面 盧煥煥(四)詳ノ支那人ヨリ受領ス	七月五日自宅ニ煙草ニ贈ルニ来レル支那人	任意領置
七一	全	二	嘉興東門外御慶堂 吳服街 俞 泳福(四)店ヨリ釣銭トシテ受領	七月九日上海四馬路崇禎里嘉興吳服	ノ
七五	全	二	上海北停車場司令部	七月十五日杭州行客ヨリ受取り後刻登 見セルモノ	任意提出
七五	全	一	蘇州東中市六〇号 姓 葉 生(三三)	七月十日上海孟德蘭路五三三号盟友華 竹峯ヨリ借付シテ借用モノ	領置
七八	全	一	無錫七都馬巷	七月十七日租界内ニテ旅行中ニ支那人	ノ

七、三〇	七、二九	七、二九	七、二六	七、二六	七、二六	七、二六	七、二五
十	十	十	十	十	十	十	十
一	一	一	一	一	一	一	一
四	二	六	四	五	二	一	一
上海同濟路三三五号	上海貴州路 王福來(四〇)	無錫城以盛巷 汪鑑(三三)	上海四馬路崇讓里一九 管連全(三三)	上海寧波路小清里五号 皮鼎三(一一)	嘉定東城內楊王廟前 金在明(三三)	嘉定東城西橋鎮西街 商人 姓文田(六〇)	杭州 叫厚鄉(三三)
全	入平聖路不明	全	全	全	全	全	全
右		右	右	右	右	右	右
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

二、寔兵ノ処置所見

最近偽造軍票多発ニ鑑ミ、停車場司令部出札掛ト連絡偽造軍票ノ発見ニ努ムルト共ニ之カ入手先等ニ付嚴重取調ベタルモ、何レモ偽造ナルコトヲ感知セズ所辨シ居リタルモノ如ク、何レモ任意提出セシメタルガ之等偽造軍票ハ極メテ巧妙ニ偽造セラレ、一見實物ト相違セス。且相当廣範田ニ行使サレラルヲ以テ引續キ注意中

註大

常州ニ於ケル軍票忌避状況ノ件報告(通牒)

昭和十三年七月三日(中支實地部第三八号)

中支派遣軍聖理部長宛

中支那實地兵隊司令官

首題ノ件左記報告(通牒)ス

左記

要旨 武进縣内ニ敗殘兵侵入ノ流言ト偽造軍票ノ行使者出沒等ヨリ一

般支那人及日本商人中軍票ヲ忌避シテ、實地兵ハ偽造軍票ノ偽

造並行使者ノ嚴探ニ努ムト共ニ自治委員會マデ軍票忌避取

締ノ佈告ヲ爲サシメタリ

一 軍票忌避状況

(1) 支那人側

常州城外支那人間ニ四藩ニ流通シテ、軍票ハ最近敗殘兵多

數武进縣内ニ侵入シテ、流言ニ因ル

(4) 軍票ヲ所持シテモハ支那軍ニ発見セラレタル場合最罰ニ付スル
(5) 支那軍常州城ヲ占領シタル場合軍票ヲ所持シタル者ハ日本軍
ノ間諜トシテ処分セラレ

等ノ軍票忌避ノ流言ト偽造軍票行使者ノ出沒ヨリ支那人
間ニ於テ軍票ハ全ク使用ヲ拒否スルノ状況ニ至リタリ。

(然共日本軍人が支那商人ヨリ物品購入ノ際軍票ヲ交付スル
拒否セズ)

(6) 日本商人側

日本商人中軍票ハ支那人忌避シ居ルト交換其他ニ不便煩雜
ヲ理由ニ軍票ヲ忌避又ハ好マサル傾向アリ。

三 處置

慶典ハ軍票偽造者並行使者嚴禁中ニシテ一面自治委員會マテ
「軍票ヲ忌避シ或ハ軍票ヲ忌避セシムルカ如キ流言ヲ爲ス者ハ最罰
ニ付ス」旨ノ通告ヲ爲サシメ流言ノ取締ニ任シ軍票流通ノ碍ヲ除キ

註七

經費使用方ニ関スル件通牒

昭和十三年六月十九日（中支經主第〇一號）

各師團參謀長

軍直部隊長等

宛

中支那派遣軍總參謀長

昭和十三年度豫算ノ實施ニ関シテ曩ニ陸軍大臣ヨリ軍費使用ニ
 関シ別紙第一（略）ノ如ク訓示セラレタル處ニシテ當年ニ於テハ既
 ニ參謀長會議及經理部長會議等ノ際ソノ方針ヲ明示シタリト
 雖モ未ダ所望ニ達セザルヲ遺憾トス。茲ニ重ネテ之ガ實行ノ具体
 的方策ニ関シ別紙第二ノ如ク是メレタルニ付之ガ普及徹底ヲ期
 セラレ度依命通牒ス
 （別紙第二）

一、軍用手票使用ヲ徹底セラルコト

（イ）警備管區外ニ於テハ將ニ定ムル地域ノ外極力軍用手票ヲ使用

セシムルコト。但シ送金等ノタメ特ニ日本紙幣ヲ必要トスル時ハ官
憲ノ證明ニ依リ之ヲ交換スルコト。

(2) 軍用手票ノ流通ニ関シテハ其ノ徹底ヲ期シ萬一之ガ流通ヲ妨害
スルガ如キ所爲アル者ハ其ノ營業ヲ取消并嚴重ニ處断スルコト。

(3) 軍用手票ノ贋偽造ノ取締ヲ勵行スルコト。

(4) 支那貨幣ニ依ル取引ハ極力之ヲ排除シ軍票ヲ使用セシムルコト。

二、海外掛ニ関スル事項

(1) 歐米其ノ他ヨリ輸入品ノ使用ハ極力減少スルコト、シテ特ニ左ノ諸項
ニ注意スルコト

(1) 軍需品トシテ外國品(支那土産ヲ除ク)ヲ購入セザル可カラザル場合
ハ豫メ軍司令官ノ認可ヲ受シルコト。但シ作戦行動ノ爲認
可ヲ請フノ邊ナキトキハ爾後速カニ認可ヲ受シルコト。

(2) 萬真機、煙草、ウイスキー等ハ國産品ヲ使用スルルルヲ特ニ指
導スルコト。

註
八

(六) 占領地區内ノ物件ハ特ニ左ノ諸項ニ注意シ極力利用スルコトニ

努メ、ソノ支拂ハ軍用手票ヲ使用スルコト

(イ) 金銀地金ハ之ハ現地ニ於テ處分スルコトナク總テ軍經理部

ニ現送スルコト。

(ロ) 木材、アムペラ、煉瓦等ノ建築材料ハ支那在來ノ現地資

源ニ依リ追送ハ努メテ節減スルコト

(ハ) 精米及馬糧ハ例令不悞不良ハアリト雖モ極力之ヲ蒐集利

用シ内地追送ヲ節減スルコト

(ニ) 新炭其他ノ燃料ハ現地ニ於テ極力製造シ、今冬ヨリ追

送ヲ節減スル如ク速カニ着手スルコト

三、軍人軍屬ノ所持金ハ各自ニ携帶セシムルコトナク成ルベク郵便貯

金又ハ銀行預金ヲ爲サシムル様勸奨スルコト

俸給部ヲ邦貨ニ換ヘ軍用手票ニテ支給ノ件通牒

昭和三年六月三日(中支全主第(八四号))

師団司令部長

軍直部隊長等

中支那派遣軍司令部長

現地ニ於ケル通借ノ軍用手票ニ依リテ屢次通牒セシモ未ダ徹底セズ。停車場其ノ他ニ於ケル軍人軍屬ノ諸支拂ハ殆ド邦貨ヲナシテ

目撃キシ寒厄ニ堪ヘザレ所ナシ。殊ニ補助貨ハ一度支那ノ手ニ入レバ

回收困難ナレテ以テ之ヲ流出セシメザルノ法ヲ講ズレト必也ナリ。

之ガため軍人軍屬ニシテ俸給ノ一部ヲ邦貨ニ換ヘ軍用手票ヲ以テ

支給シ上海以外ノ現地ニ於テハ邦貨ヲ使用セシムル様取計セ

相成度

追而俸給ノ一部ヲ邦貨ニ替ヘ軍用手票ヲ支給シタル場合ノ整理

ノ俸給受領証金額ハ邦貨ヲ以テシ軍用手票ノ分ハ組織費

取上理ニ依リテ度申添ス

註九

上海ニ於テ軍票ノ取引可能ノ件通牒

昭和七年六月十八日(中支聖軍第九八号)

各師團聖理部長

草直部隊長等

宛

中支那派遣軍經理部長

從來上海地方ニ於テ、軍票ヲ使用セシメザリシ處、斯クテハ、
地上ノ取引上不便ニ付、爾今別紙ニ指定期間ニ限リ、軍票ノ取引
ヲ爲サシメタルニ付、承知相成度

軍指定商店名

取賣品種	營業場所	商	店
ビール、サイター	海晏路	土橋	號
酒、醬油	重松藥房	和洋酒	飲料水
醫藥品、菓子	和洋酒	飲料水	漢壁路
食料品、雜貨	文房具、和洋紙	文具	宇野商店
林見風路、共	書籍	日平屋	
川次	海濱會館		

雜貨類 罐頭 砂糖 菓子	油類 船具 機材類	雜貨類 食料品 雜貨類	寫真機	文具 洋紙	和洋雜貨
吳淞路	乍浦路	園行路	南車路	吳淞路	乍浦路
山九商會	和興洋行	紅葉屋	千代洋行	木村公司	松尾洋行
	雜貨類 食料品 文具類	食料品	時計類	雜貨類 食料品	タバコ
	七面り路	吳淞路		文治	吳淞路
	和興洋行 雜貨類	相互社	平四洋行	丸 福	會業直業

〔注一〕

上海ニ出張セル軍人軍属ノ軍用手票交換ニ
関スル件通牒

昭和十三年八月五日（中支全主第一五〇號）

各師団全理部長

軍直部隊長等

宛

中支那派遣軍經理部長

上海ニ於テハ諸種ノ事由ニ依リ当分ノ間軍

用手票ヲ使用セシメザルニ付、同地ニ出張

セル軍人軍属ニシテ現地使用ノ爲那俟テ必

率トスルトキハ左記ニ依リ軍用手票ヲ交換

致ス可キニ付將兵以下ニ徹底セシメラレ度

適而軍指定商ニ於テハ従来ノ通り軍用手

票ノ使用差支ヘナキニ付申添テ

左記

一、交換金額

一人百円ヲ限度トス

二、交換場所

中支那派遣軍司令部

上海銀行（実業百貨店前）

漢口銀行（日本人俱樂部前）

軍指定商（別紙第一ノ通）

三、交換手續

交換ヲ爲サントスルモノハ別

紙第一ニ交換請求書ヲ提出シ兼

手数料ニテ交換スルモノトス

〔別紙略〕

〔註一一〕

軍票交換方ニ関スル件

昭和十三年八月十四日（中支那派遣軍司令部第一六三號）

邦人銀行宛

畑部隊本部司令部

拜啓益口脚隆品之殺奉賀候 却設事喪地内
= 於^テル軍票、使用ハ逐次徹底シ上海^ニ於
テモ 奥地ト取引ハ漸次軍票ニ依^レモ、増
加シツ、アル狀況ニシテ 従来ハ之ガ邦貨
ト、交換ハ軍管理部ニ於^テ實施シタルモ、
今般軍事上ノ都合ニヨリ別紙交換要領、如
ク貴店ヨシテ取扱ハシムルニトニ改メタル
ニ付脚願申上候

（別紙） 軍票交換要領

一、軍票ハ各銀行ニ於^テ官憲ノ証明書ヲ有
スルモノニ限リ邦貨ト交換スルモノト
ス。 但シ介任官^所持軍票ノ交換ハ官憲
ノ証明書ヲ要セス

- 二 各銀行に於てハ交換請求書ヨリ別紙軍票交換請求書ハ官憲ノ証明書ヲ添付スルヲ欲シ。毎日之ヲ集計シ。別ニ交換請求書ニ通テ調製シ。軍票ト共ニ正金銀行ニ送付シ。邦債ヲ受取スルモノトス。
- 三 正金銀行ハ各銀行提出ノ交換請求書ヲ集計シ。毎四曜部隊管理部令任資金前渡官吏口座ノ軍票及邦債ト紐合テ行フ。ト共ニ紐合通知書ハ各銀行ノ交換請求書一通ヲ添付スルヲ令任資金前渡官吏ニ送付スルモノトス。
- 四 軍票交換ニ際シテハ。侍道ニ注意スルト共ニ將來使用ニ堪ヘサルモノハ。之ヲ權別区分シ。面数毎ニ封印シ。其ノ責任ノ所在ヲ明ラカシムルモノトス。
- 五 軍票管理部ハ交換手数料トシテ第ニ節ノ場合ニ於テ

ル取扱金額、今令、一、支拂、モ、ト、ス。

六、前号手数料ノ請求書ニハ交換請求書ヲ添付スルモ

トス。

七、本要領ニ依リ軍票ノ交換ヲ取扱ハシムル銀行左

如シ、

正金銀行 台湾銀行 朝鮮銀行

上海銀行 漢口銀行

八、本要領実施ノ時期ハ八月十四以降トス。

附

(1) 上海以外ノ地ニ在リテハ其ノ地最高主理部長ニ

於テ本要領ニ依リ交換要領ヲ定メ銀行流出所

ニテ取扱ハシムルモトス

(2) 軍人軍房ノ私金ニ就テハ中支主筆一五〇号ニ

依ルモトス

〔別紙 畧〕

〔註一〕

軍票交換ニ関スル件

昭和十三年八月十四日 〔中支聖主第一六四号〕

軍指定商組合宛 中支那派遣軍聖理部長

従来当聖理部ニ於テ軍票ノ交換ヲ実施シタルニ不便ニ付

別紙ノ通り改メタルニ付承知相成度

進而組合員ノ軍票交換証明書ハ当部主計科ニ於テ交付

スベキニ付申添フ

〔別紙〕 軍票交換要領〔畧〕

〔註一三〕

軍票流通ニ関スル件

昭和十三年八月十四日（中支圣主第一六〇號）

野戦聖理長官宛 中支那派遣軍聖理部長

首題、件、関、別紙、通、呈出ス

各兵团聖理部長宛

首題、件、別紙、通、野戦聖理長官、提出セシメ、付券考送

送付ス

「別紙」

軍票使用及流通方策

一、方針

(1) 事業地域に於て使用スル通貨ハ上海附近ヲ除ク、

外軍用手票ニ依ル。

(2) 邦貨及支那貨幣ハ必要止ムヲ得サル場合、外之ヲ

使用セシメザルモノトス。

流通対策

(13) 毎町吏の特定、商人若くは方法、依り之ヲ使用

ヒシノ市内ノ流通ハ当分、河之ヲ制限ス。

(11) 交換の方法

(14) 物資持下・依リ交換

持下物資ハ買ノテ押收物資（精米、塩、小麦粉等）

・依リ各至理部及野戦衣糧廠ヲシテ実施セシム。

但至理部及野戦衣糧廠ノ位置セサル都市ニシテ

其ノ必要アル場合ハ他ノ機関ヨリテ実施セ

レラルトアリ。

(15) 邦債ニ依ル交換

各至理部ハ尤、場合官憲、証明書ヲ持参スル者

ニ限リ交換スルモノトス。

(1) 日本人ニシテ雇用手票ニテ商岳ヲ売却シ、

(二) 交換実施要領

(イ) 各経理部 = 於テモ

(一) 及(二) 場合 = 在リテハ介任官 = 於テ交換スル

(四) 軍隊關係 = 於テ仕入レリ爲テ切實ヨリ心算トスル

(三) 軍人軍馬 = シテ俸給又ハ鈎銭トシテ軍用手票ヲ受領シ上海 = 於テ使用リ爲差クハ華夷地ヲ離ルヲ爲心算マレルトキ。

(二) 支那人 = シテ贖金又ハ商品売却代トシテ軍用手票ヲ受領シ上海 = 於テ仕入リ爲切實ヨリ心算トスルトキ。

(一) 地送金又ハ上海 = 於テ仕入レリ爲切實ヨリ必要トスルトキ。

銀行派出所ノ設置ナキ各埠頭ニ於テハ各埠頭ニ交換
業務ヲ実施スルモトス。銀行派出所ヲ設置シ
テル地ニ在リテハ各埠頭ノ指示ニ依リ銀行ヲ
シテ交換業務ヲ実施セシム。其ノ交換要領別紙
第一ノ如シ。

(ロ) 物資ニ依リ交換ハ各埠頭又ハ野戦衣糧廠及四
治委員会等ノ職員ヲ以テ物資交換所ヲ設置セシ
メ、四時ヲ限リ持価ヲ標準トシテ拂下ヲ実施ス。

(ハ) 軍人軍馬私金ノ交換要領

上海附近ニ於テハ原則トシテ軍用手票ヲ流通セ
シメザルヲ以テ、奥地ヨリ上海ニ出張シタル者
又ハ内地飯遷者等ノ爲ニ軍票交換所ヲ設ケ別紙
第一ノ要領ニ依リ交換ヲ実施ス。
(ニ) 軍時勢部指定ノ商人ヲ奥地ニ進出セシメ軍用手

三 其他

- (イ) 票 = 依リ支那人ニ用出品ヲ販売セシム。
- (ロ) 郵便為替及貯金ノ邦貨ト同様之ヲ取扱ハシム。
- (ハ) 鉄道旅客及貨物運賃ハ已ムヲ得サル場合、外軍用手票 = 依ルモノトス。
- (ニ) 奥地派出ノ銀行ニ対シ、軍用手票 = 依ル送金ヲ取扱ハシム。其ノ場合 = 於テハ該地所在ノ至理部 = 於テ毎日銀行取扱ノ軍用手票ヲ邦貨ニ交換セシム。
- (ホ) 憲兵隊ト協力シ、軍用手票ノ割引取引又ハ受領拒絶等ノ所為アリタル者ヲ嚴重警告又ハ堂業停止ニ實施セシム。
- (ロ) 軍用手票ノ贋偽造者ニ対スル注意及取締ヲ徹底セシム。

(1) 銀行派出ニ就テ

部隊駐留ノ主要地ニ銀行ヲ派出シ軍票交換及國庫

金ノ出納ヲ行ハシム現在ニ於ケル派出地及將承予

定派並地ハ別紙表ニ如シ

(2) 海軍トノ協調

三月中可海軍表ニ艦隊主計長ト協議シ 遼江部隊

ハ陸軍部隊ト同様軍用ヲ票ヲ使用セシムコトヲシ

別紙表四ノ通り海軍部隊ニ指示セシム 然レ共海

軍部隊ハ其ノ使用否シカラサルヲ以テ更ニ注意ヲ

舊券シ蓋キタリ

(3) 制限交換ニ就テ

交換ヲ無制限ニ実施スルコトハ主義ニ於テ軍用

票ノ流通ヲ良好ナラシムルト雖モ上海ノ如キ特

殊地感ヲ設ケ且散種ノ貨幣流通レアル場所ニ於テ

ハ、格差ヲ利用シ盛ニ不正ヲ働ク者続出スル傾向アリ。例ハ、奧地ニ於テハ現在円弗穿西ヲ以テ取引セラレマシラ好機トシ上海ニ於テ支那幣ヲ入手シ（現在邦貨ノ一割五分尙）之ヲ奧地ニ到リ軍用手票ヲ取ルトキハ幣セマシテ莫大ナル利益ヲ得ルニ至ルヲ以テ之ヲ排除スル爲依然憲兵隊其他ノ部隊ノ商行為ニ依ル正当取得者タルヲ証明書ヲ所持スル者ニ限リ邦貨トノ交換ヲ実施セシム。

四、意見

(1) 軍票ノ券貨体裁ハ一致ノ研究改善ヲ要ス
現行軍票ノ体裁ハ全ク一時的ノ徵券代用券トシテ其ノ端ヲ發シクルモノナルヲ以テ現在ノ狀勢ニ於テ之ヲ批判スルハ當ヲ得サルモ紙質模様印刷等支那軍需券ニ比シ善シク不体裁ナリ。尙支那人ハ常

ニ丸ヲ込ミ所持スルヲ以テ折四ヨリ破損シ長期

使用ニ堪エズ。四下不良軍票回收中ナルヲ以テ不

正返納ノ手續ヲ講ズベシ。

序ニ一支那要人ノ軍票ニ対スル批評ヲ別紙第五ノ

如ク添付ス。

(2) 華変地内ノ通貨ハ一種類ニ統一スルヲ要ス

丁集團上陸ニ依リ初メテ華変地ニ於テ軍票ノ使用

ヲ開始シヨルニ軍人軍房ノ諸給與ハ邦貨ナリシ爲

占據地内ニ於テハ邦貨ノ軍票ノ支那貨ノ競合ヲ生

シタリ。

当初ヨリ軍票一色トセバ極メテ良好ニ流通シタリ

モトト魁考ス。現在與世ハ軍票一色ニ改メタル結

果定ナル通貨トナリタリ。

只問題ハ上海ヲ特殊扱ニナシテハ爲。今尚其ノ不

平絶ヘズ。依ツテ法幣ノ下落ノ時期ニ至レバ上海
ヲモ軍用手票ニ依ラシメ、各銀行ヲシテ邦債ト同
様取扱ハシムルヲ可トスル意見ニテ其ノ時機ニ就
テハ四下研究中ナリ。之ガ爲ニハ軍用手票ノ発行
能力ヲ増大シソノ旨使ヲ向上セシムルヲ要ス。

(3) 軍人軍房 諸給与ハ拾銭未満ハ切上ケ支拂フ如ク
速ニ改正ヲ要ス。

軍用手票ハ最小額拾銭ニ限ラレテ軍人軍房ノ給
与ノ爲態々補助價ヲ携行セザルヲラス。而モ硬貨
ハ一旦又邦人ノ手ニ入レバ回収困難ニシテ、毎町
之ヲ現送セザル可カラザル状況ニシテ手數ヲ要スル
コト甚ダシ。

(4) 軍用手票ノ毎町現送額ハ約五百円ト予想ス。
其ノ内容左ノ如シ。

〔註一四〕

軍票流通ニ関スル意見ノ件止申

昭和十三年六月十八日（吉主第六六號）

中支那派遣軍聖理部長宛 吉住部隊聖理部長

上海（主トシテ虹口地帯）ニ於テモ邦人河ノ取引ニアリ

テハ極制限ニ軍票ヲ流通セシムル如ク取計ヲ適當ト認

右意見止申ス

理 由

軍票ノ流通ニ関シテハ銳意之ヲ普及ニ努メソクアリ

當所團駐留地或ハ於テハ支那貨ノ大暴落ハ軍票ノ価値

ヲ益々昂揚シ、四下毫モ支障ナク流通シツクアリテ支

那住民ニ付スル支拂ハ固ヨリ軍人軍馬等ノ俸給ニ軍票ニ

テ支給シ、又野戦郵便局、台湾銀行ニ於テモ邦貨同様ニ

106

2138

取扱、如く協定シタル為最ニ邦貨ノ使用ヲ容セサル現況
 十リ。
 然レニ邦商ハ上海ニ於テ品物ヲ仕入ルノ關係上邦商保荷
 ノ軍票ハ邦貨ト交換スルヲ望シ、又軍帳軍人軍馬ノ上海
 出張或ハ部隊ノ上海ニ於ケル物資購入ニ當リテモ常ニ文
 換スルノ不便ヲ感シツ、アリ。
 我軍駐留地或ハ物資ノ補給調弁地ハ上海ヲ其ノ極源ト
 爲ヌニ鑑ミ、居留民団、商工会議所等ヲ糾合懇諭シ、上
 海在住邦人何ニ軍票ヲ全般均ニ通貨トシテ通用セシムル
 ニトハ最ニ望ムニシテ、亦以テ中支方面ニ於ケル軍票ノ
 円滑ナル流通ヲ促進スル方策ヲセベリ、一面現下
 上海方面ニ於ケル邦貨溢蓄ノ趨勢ヲ緩和シ、併セテ四支
 貨ノ現物相場ヲシテ為替相場ト連接セシムル上ニ於テ極
 メテ緊要ニシテ迅速ニ実施ヲ望スルモノト認ム。

107

2139

註一五

轉房部隊携行軍資金ニ関スル件通牒

昭和十三年六月二十九日（方軍主第三一八號）

中支那派遣軍聖理部長宛 北支那方面軍聖理部長

近、中支方面ニ轉房セラルベキ部隊、携行軍資金並個人

所持金ニ就テハ九記ニ依リ整理シ遺漏ナキ様時ニ配慮相

成度

九記

一、中国聯合準備銀行券及朝鮮銀行券ハ携行セザルコト。

二、軍資金ハ主トシテ軍票ニ使用スレコト。

之ヲ使用ハ別冊軍票使用要綱ニヨルモノトス。

三、現ニ所有スル中聯券及朝鮮銀行券ハ輸送途中ノ所要額

ヲ控除シ残余ハ軍又ハ師団（兵团）經理部ニ於テ軍

票又ハ日本銀行券ト交換スルモノトス。

108

2140

四、軍票ハ請求ニヨリ方面軍聖理部ヨリ軍又ハ師団（兵団

）聖理部ニ交付ス。

五、交換未済ノ中聯券又ハ鮮銀券若ハ差当リ不要ノ預託金

算ハ軍、師団（兵団）若ハ最寄部隊ニ清算整理スルコ

ト。

六、個人ノ所持金ニ就テモ前諸項ニ準シ整理スルコト。

七、日本銀行券ヲ必要トスル場合ハ方面軍聖理部ヲ經由シ

最寄正金銀行又ハ朝鮮銀行ニ於テ鮮銀券ト交換ヲ受

ルモノトス。

（別紙答）

（註一六）

法幣使用拘制ニ関スル件通牒

昭和十三互十四十八四（中支）主第ニ六五號

關係部隊宛
近時軍占據地域ニ於テハ邦商ハ殊ニ小売商人間ニ著シクハ物資購取等ノタメ法幣ニ依リ商取引スル者頻々ノ現況ニアリ

斯テハ國策カシ軍票ノ普及徹底ヲ阻害スルノミナラスナ角円券ナル流通ヲ免ツル萌芽ヲ排除スルヲ虞アルヲ以テ極力法幣ノ使用ヲサケシムル如ク指導セラレ度追テ物資購取等ノ爲ニ要トスル軍票ハ当軍管理部ハ出憑所共ニ於テ交換実施スベキニ付申添フ

〔註一七〕

戦地使用通貨並物資調達等ニ関スル注意事項ノ件

昭和十三年十月八日(野至長彙第八九號)
中支那派遣軍管理部長宛
野戰管理部長官

戦地ニ於テ使用通貨并ノ件ニ関シテハ既ニ通牒セラレ
アル也ナレモ其後ニ於テ諸般ノ情勢ニ鑑ミ物資調達
其他ニ関シ特ニ尤、諸兵ニ注意相成度依テ通牒ス
追而軍票ノ流通並其価値維持ニ関スル積極的方策ニ就
テハ要員ノ増加配屬、物資配給檢閲ノ進出、銀行ノ
預金取扱等四下準備中ニ付申添フ

記

一、貴作戦地ニ於テハ上海附近ヲ除キ、原則ト
シテ軍用手票ヲ以テスルコトハ曩ニ陸支密第ニ
九師ヲ以テ通牒セラレアル通ナルガ、本件決定ノ趣
旨ハ中支方面ニ於テ円紙幣流出ノ状況ニ鑑ミ、努
メテ之ヲ裁少ヲ図リ、以テ我円紙幣維持ニ支障ナク、
シメントスルニ他ナラス。
其ノ上海附近ヲ除キ、ソノハ租界及既成権

益トノ関係ヲ顧慮シ、一応除外シタル迄ナルヲ以テ
 右山海附近ト雖モ特別ナル支障ナキ限リ、努力ヲ集
 票ヲ流通セシムル如ク積極的措置ヲ講スルコト必要
 ナリ。
 二、商種ノ報告ヲ綜合スルニ當リ於ケル法幣ノ記入レハ
 相當ノ類ニ止ルモノ、如シ之ガ記入レニ付テハ必
 遣軍トシテハ夫々事情ノ存マレトシ、應惟ナルモ
 元末法幣ニ對シテハ作戦ノ進捗ト相俟テ英崩壊ヲ夙
 ニ希望シナル見ニシテ、寧ろ之ニ即応セシムベキ方策
 ヲ採ルヲ有利ト認メアル現狀ニ於テ、軍費ヲ法幣ヲ
 購ヒスルハ假令一時的ニモセヨ之ヲ需要ヲ作出シ
 却テ英ノ信用ヲ維持セシムルノ作用ヲ招来セシムル
 ノ虞アルヲ以テ、特殊ノ必要アル場合ノ外進テ之ヲ
 購入ヲ十サガレモトス。

172

尚一訂方面ニ於テ法律ヲ介シ外貨取得ヲ初利ナリト
ノ見地ニ於テ之ヲ積極的取得ヲ企図セントスルノ識
ナキニ非ザルモ、軍ノ所要ニ基ク取得以外ニ政策的
ニ斯ル工作ヲナスコトハ、中央部ノ指示ヲ俟テ行
ハルベキモノニシテ軍ノ由ラ專行セラレベキ処ニ非
ズ。

三、衣糧原材料其他内地後送物資ノ蒐集ハ事情ノ許ス限
リ、第一線兵団ヲシテ直接内地ニ於テモ之ヲ行ヒ価
格ノ低下ニ着意スルト共ニ、其ノ範圍ハ成ルベク軍
票ヲ以テ支拂ヲ爲シ得ル程度ニ止ムベキモノトス。
法幣又ハ日本銀行券ヲ以テスル購収ハ極力之ヲ避
ルコトニ努ムルヲ要ス。

四、作戦上必要ナル軍需物件ノ調達ニ際シ、若シ地方住
民ニシテ軍票ヲ以テスル購収ニ応ゼカレバ如キ

場合ハ上場附近及常三國關係ノモノヲ除キ、外要
スレバ徵稅ニ依リ後四ノ証トシテ受領証ヲ交付スル
等ノ手段ニ依ルモノトス。

五、戦地ニ於トル物資ハ急救ナル需要ノ増加、多数部隊

ノ競合、其他諸種ノ原因ニ依リ此時一般ニ暴騰ヲ来

シツクアリ。軍ニ於テハ標準價格ノ指定其他諸種ノ来

致ヲ講セシメアレモ、更ニ之カ指導ヲ積極且適切ナ

ラシメ、極力抑制ニ努ムルハ勿論進テ之リ低下ヲ察

スルコト所望ナリ。

六、補助債ノ不足ハ之ヲ所地ニリ追送送付スルコトハ四

下困難ナル事情ニ在ルヲ以テ、出来得ル限リ現地ニ

於テ銅貨類ノ回收利用ヲ策スルト共ニ、住民ノ隱匿

其他ニ依リ滅失防止ニ関シ善処ノ要アリト認ム。

又要スレバ野戦酒保等ニ於テ適宜補助券ヲ発行シ

若クハ關係方面ト連繫シ新政府ノ補助費奉行ヲ促進
スル等 將共給與ノ端致其他一般支拂上ノ不便除去
ノ手致ヲ講スルヲ可トス。

2147